

## 尿検査はあなたの健康のバロメーターです！！

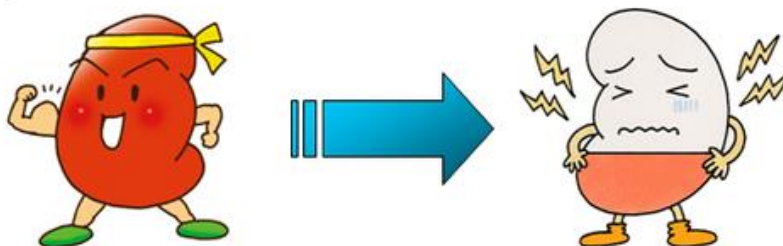
腎臓は血液の中の老廃物を取り除いてきれいにする臓器です。

その腎臓の働き(腎機能)が、ゆっくりと低下していく病気が「慢性腎臓病」です。

英語の頭文字をとって「CKD」とも呼ばれます。

わが国のCKD患者さんは **1330万人**に達しており、

成人の8人に1人がCKD患者であり、CKDは21世紀に出現した新たな国民病です。



CKDになり何年もたち腎機能が極端に低下してくると、尿毒症の症状(例えば、貧血、頭痛、吐き気、めまい、しびれ、視力低下、不整脈、意識障害など)や足のむくみが現れてきます。

このような症状が現れた場合、命を守るために早急に透析治療を行わなければいけません。

しかも透析療法が必要なほど腎機能が低下してしまってからでは、腎機能を元に戻すことはできません。

大切なことは、CKDは透析治療が必要になるほど進行する直前まで、ほぼ自覚症状が現れないということです。そのため腎機能の検査で異常が発見されたら、自覚症状がなくても治療を継続してください。早い段階のCKDであれば、治療によって腎機能が改善することも少なくありません。



**健診で尿蛋白陽性が見つかった人の5～10%がいずれ透析療法が必要になると言われています。  
検尿で異常が見つかれば早期にかかりつけ医に相談をしましょう！！**